

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年1月5日 (2012.1.5)

【公表番号】特表2011-504375(P2011-504375A)

【公表日】平成23年2月10日 (2011.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-006

【出願番号】特願2010-535876(P2010-535876)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 7/08

C 0 7 K 14/00

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 47/34

A 6 1 P 43/00 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月8日 (2011.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

核酸結合分子と複合又は接合している核酸の配列を備え、

前記核酸結合分子は、1つ又はそれ以上のタンパク質導入ドメイン (P T D s) と1つ又はそれ以上のスペーサとを含む1つ又はそれ以上のスペーサ組み込み型 P T D s を含み、

前記スペーサは、前記核酸の配列と結合しない1つ又はそれ以上のアミノ酸の配列を含み、

少なくとも1つの前記スペーサは、抗体の F c ドメインからなる複合体又は接合体。

【請求項 2】

前記核酸は、リン酸骨格を含む１本鎖核酸である請求項１に記載の複合体又は接合体。

【請求項３】

前記スペーサ組み込み型タンパク質導入ドメイン（PTDs）は、３つ又はそれ以上のPTDsを含む請求項１に記載の複合体又は接合体。

【請求項４】

前記１本鎖核酸は、shRNA、アンチセンスRNA及びcDNAからなる群から選択される請求項２に記載の複合体又は接合体。

【請求項５】

前記スペーサ組み込み型タンパク質導入ドメイン（PTD）は、ホモマーPTD及びヘテロマーPTDからなる群から選択される請求項１に記載の複合体又は接合体。

【請求項６】

前記スペーサ組み込み型タンパク質導入ドメイン（PTD）は、配列番号４３、配列番号４４、配列番号４５、配列番号４６、配列番号４７、配列番号４８、配列番号４９、配列番号５０、配列番号５１、配列番号５２、配列番号５３、配列番号５４、配列番号５５、配列番号５６、配列番号５７、配列番号５８、配列番号５９、配列番号６０からなる群から選択される配列を含む請求項１に記載の複合体又は接合体。

【請求項７】

前記核酸結合分子は、１つ又はそれ以上の核酸結合領域をさらに含み、
前記１つ又はそれ以上の拡散結合領域は、カチオン性物質を含む請求項１に記載の複合体又は接合体。

【請求項８】

前記カチオン性物質は、ポリリジン、ポリアルギニン及びポリエチレンジイミンからなる群から選択される請求項７に記載の複合体又は接合体。

【請求項９】

前記核酸は、２本鎖RNAであり、２本の鎖のうちの１つは実質的に標的遺伝子と相補的である請求項１に記載の複合体又は接合体。

【請求項１０】

前記２本鎖RNAは、siRNA、miRNA、操作型RNA前駆体及びshRNAからなる群から選択される請求項９に記載の複合体又は接合体。

【請求項１１】

前記核酸は、２本鎖核酸であり、
前記２本鎖核酸は、２本鎖DNAベクター、２本鎖RNA、ハイブリッド２本鎖核酸及び環状RNAからなる群から選択される請求項１に記載の複合体又は接合体。

【請求項１２】

請求項１に記載の複合体又は接合体を含む組成物。

【請求項１３】

請求項１に記載の複合体又は接合体を生成する工程（i）と、
細胞培養培地の中に、前記請求項１に記載の複合体又は接合体を加える工程（ii）と、
前記細胞培養培地を、培養する工程（iii）とを備え、
前記核酸は、細胞の中に導入される、細胞内への核酸の導入を促進する方法。

【請求項１４】

核酸結合分子と複合又は接合している核酸の配列を備え、
前記核酸結合分子は、１つ又はそれ以上のタンパク質導入ドメイン（PTDs）と１つ又はそれ以上のスペーサとを含む１つ又はそれ以上のスペーサ組み込み型PTDsを含み、

前記スペーサは、前記核酸の配列と結合しない１つ又はそれ以上のアミノ酸の配列を含み、

前記スペーサ組み込み型PTDsは、配列番号５９の配列を含む複合体又は接合体。

【請求項１５】

前記核酸は、リン酸骨格を含む１本鎖核酸である請求項１４に記載の複合体又は接合体

°